

みんなボランティア

183号

新しい発見・出会いの場を創造するボランティア情報誌
発行：宝塚社協ボランティア活動センター

季節で変わる 癒しの空間 メリーポピンズ逆瀬台



『ラムスイヤー』。白い毛で覆われている葉は、羊の耳の名前にぴったりの柔らかな手触り。



ベンチに座りながら庭園を眺めることもできます。



活動中。茎が倒れないように結びます。



南アフリカ原産の『ディエラマ』6～7月に花が咲きます。

逆瀬台デイサービスセンターの建物に沿って歩き、裏に回ると、四季折々の花が咲いている花壇があります。そこはメリーポピンズ逆瀬台の皆さんが、お世話をされている『メリーポピンズの庭』。この建物は2階に宝塚社協の逆瀬台地区センターがあり、デイサービスセンター利用者だけでなく地域の方々もたくさん集まる場所となっています。「この花壇は、春夏秋冬どの季節にきても花が咲いているように、見る人が楽しめ癒されるように工夫しています。」と話されるのは、グループを立ち上げ、24年間活動を続けられている大日向さん。また、ここの花壇には、他では目にすることができない珍しい花も咲いています。羽根を広げたような大きな葉っぱで2mほど成長し、深いワインレッドの花が咲いている『メリアンサスマヨール』。ススキのような葉の中からたくさんの花茎を伸ばして、その先に花を吊り下げたように咲く『ディエラマ』。その姿から「天使の釣り竿」という別名がついているそうです。

季節によって違う花が楽しめる『メリーポピンズの庭』。いつでも誰でも見学可能となっているので、ぜひお立ち寄りください。また、メリーポピンズ逆瀬台では、一緒に活動するメンバーを募集しています。キレイな花たちに癒されながら活動しませんか。

メリーポピンズ逆瀬台

活動日：毎週火曜日

場所：逆瀬台デイサービスセンター

活動についてのお問い合わせはボランティア活動センターまで。



メリーポピンズの庭をお散歩中。



南アフリカ原産の『メリアンサスマヨール』。春～初夏に花が咲きます。



庭園の一角には、野菜を植えるスペースも。



手入れされている花壇には、様々な花が咲いています。



花壇に生えた草を丁寧に抜いています。

アクセス

阪急今津線『逆瀬川駅』下車→
阪急バス『逆瀬台センター』行
逆瀬台センター（終点）下車
徒歩7分



Google マップ

新型コロナウイルスでステイホーム（外出自粛） それでも工夫して、活動されています

「すえなり粉もん食堂」

未成地域で子ども食堂をされている「すえなり粉もん食堂」（本誌 181 号で紹介）。3月から子ども食堂の中止が続く「子どもたちに少しでも元気になってもらうためにできることをしたい！」というメンバーさんの思いで、お持ち帰りの『いちごの食べ比べ企画』を実施。たくさんのイチゴを前に、子どもたちは大喜びでした。



『あまおう』と『ひのしずく』の2種類のいちごをバックに詰めます。



いつも参加している子どもたちからのメッセージカード。みんな、粉もん食堂の再開を心待ちにしています。

「宝塚こども応援プロジェクト」

「学校の休校で給食がなくなり、困っている子どもたちにお昼ご飯を届けたい」という思いのもと、高司・高松町・安倉の3カ所でこども弁当を提供。地元の飲食店や寺院、地域の民生委員や企業などの協力、ネーミングライツ（お弁当の命名権）での支援を受け、4月28日～5月29日の1カ月で1817食のお弁当を販売されました。



こども応援プロジェクトのボランティアスタッフ。キッチンカーは「子どもたちの目印になれば」とダイハツ工業株式会社さんをご用意。



こども弁当を受け取る子どもたち。

「たからづか空手教室 てとて食堂」

「いつもてとて食堂に来ている子どもたちが、学校休校により昼食に困っているのでは？」とメンバーと話し合い、ご自宅までお弁当を配りに行かれました。また、「ずっと家にいることで大人も子ども

もストレスが溜まって大変！」という声を受け、てとて食堂に参加している子どもを対象に、空手の動画配信もされていました。



いつもてとて食堂に集まる、子どもたちとスタッフ。



「ゆめふうせん」

「メンバーが集まったの活動はできないけれど、何かできることをやろう。」と、LINEなどで連絡を取り合い、メンバーの皆さんで約400枚の子ども用マスクを製作されました。市内の施設や小学校、マスクを必要とされている方にお届けします。



子ども用と大人用の手作りマスク。



色や柄も様々です。

「宝塚こどもアカデミー」

宝塚すくすくアカデミー主催で、小学生を対象に週2回、学習支援をされていました。休校中の宿題や勉強を、教員免許のあるスタッフと一緒にやったり、お昼には栄養たっぷりの昼食をご用意。



みんな集中して宿題に取り組んでいます。休憩時間は、隣のお部屋で思いっきり遊びます。



「たからづかみんなの食堂 お弁当作戦」

長尾地区で活動されている『一緒にプロジェクト』『わいわいがやがやふらっとおいで』『チャオチャオ』が中心となって、お店で作ったお弁当を全8回で1,300食以上をお届けされました。



長尾ふれあいひろば駐車場で。準備万端で子どもたちを待ちます。



「こんにちは〜」順番にお弁当を受け取ります。

またグループをご紹介します!!

「紙芝居サークルちょうちょ」

3月に学校が休校になり、家にいる子どもたちに楽しい紙芝居をと、宝塚市図書館と一緒に紙芝居の動画を撮影し、市図書館ホームページ上にUPされていきました。



「エルライン」

3月から、毎月第三土曜日に開催の『悩みごと相談』が中止になっていましたが、「予約者が相談できず不安を感じておられるのでは?」との思いで、ぷらざこむ1相談室にて、電話での悩みごと相談会を開催されました。



相談室にて電話相談中。

健康 まち記者ラボ③【熱中水】

防災用品として常備したい経口補水液は、熱中症対策にも有効です。うっかり買い置きがない時でも大丈夫! 夏本番を迎えるこれからの役立ち情報。



<材料>

水 1リットル

食塩 2g

砂糖 40g

*ダイヤモンドオンライン

防災熱中症対策記事参照

ミネラルが含まれている梅昆布茶も有効です。がぶ飲みではなく、こまめな水分補給を心掛けたいですね。

●相談会のお知らせ

●初めてのボランティア活動相談

日時：7月16日(木) 10:30～12:00

8月25日(火) 14:00～15:30

場所：ぷらざこむ1

主催：宝塚社協ボランティア活動センター



アンケートより

みんなボランティア市民記者より、登録グループに「緊急事態宣言中の活動について」アンケートを行いました。合計105通送付し、返信は37通。回答をいただいたグループから、他のグループの活動状況や3密を避けながらの活動再開の方法を知りたい、等の声がありました。今回は回答内容から一部を抜粋してご紹介します。

緊急事態宣言解除後、活動内容を改善する必要があると感じますか?

○改善の必要を感じる (70%)

→どのような改善をされますか? (頻度、活動内容、方法等)

- ・共有する物品を減らし、消毒をする。
- ・活動時間の短縮。リモートでの練習も検討する。
- ・電話での「お話し相手」やSkypeなどの活用も。
- ・マスクを着用し、手指などの消毒をする。

その他の回答や集計結果については、ボランティア活動センターホームページに掲載予定です。また、活動についてのご相談などありましたら、ボランティア活動センターまでご連絡ください。

●ボランティア募集

●情報誌「みんなボランティア」の仕分け・発送作業

日時：8月26日(水) 10:00～12:00



場所：ぷらざこむ1

●音楽(演奏・歌)ボランティア

内容：障害者施設での楽器演奏や歌唱。



日時：11/3(火)、1/11(月)、2/11(木)、3/20(土)の祝日のいずれか。

10:45～11:15

場所：安倉西身体障害者支援センター(安倉西2-1-2)

●たからづか障害者応援プロジェクト

お買い物ボランティア

内容：食料品や日用品のお買い物

日時：随時 ※お買い物が必要な障害当事者と調整

場所：ご自宅付近など

●みんなボランティア記者募集!

楽しいアイデアマン! 文章を書くのが好き! カメラ男子 & 女子! 未経験でも大丈夫。



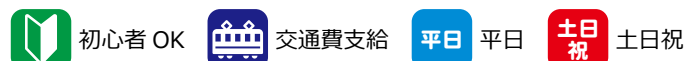
一緒に楽しんで発信してみませんか?

企画会議：毎月第1火曜日 14:00～16:00

場所：ぷらざこむ1

取材：随時 主に宝塚市内にて

問合せ：ボランティア活動センター



使わないマスクお譲りください！

医療関係者や施設職員など、必要な方々にお届けします。

①使い捨てマスク（個包装または未開封のもの）
※手作りのものはお受けできません。

②政府より配布されたマスク（アベノマスク）
・未開封のもの

※一度開封したものは、ご遠慮ください。

受取場所：宝塚社協ボランティア活動センター

受取期間：7月31日（金）17：00まで

●相談会のお知らせ

●悩みごと相談

カウンセリング活動グループ「エルライン」による親子・友人・夫婦・介護などの心の個人相談。

日時：7月18日（土）13：30～16：30

8月22日（土）13：30～16：30

場所：ぷらざこむ1 対象：どなたでも

費用：無料 定員：3名（要予約）

申込み：宝塚社協ボランティア活動センター

主催：エルライン

観る・感じる・想う

最近、「脳を鍛える」ゲームソフトや本が馬鹿売れしているらしい。そう言えば、私の本棚や机の上にも息子や娘が持参して、「ボケないように、これで脳トレしたら！」と置いて帰る。その中で、社会派の映画監督であった新藤兼人さんのDVDの映像があった。それは「新藤監督・95歳の原動力」というテーマの作品で。その中で以下のように述べておられます。

*仕事をしたいから生きてきた。

*一人で居ても豊かな時間を過ごしている。

*一人で居る時には、孤独を楽しむ。

*一人で生きて、思うままに！ そんな時こそイメージがわいてくる。

*名女優であった乙羽信子さん（新藤監督の伴侶）は生きています。私の中で力になっている。

そして最後に、こう結んでいる。

一人で居ることは豊かな時間をもつことです。さみしいのがいいのです。 NOHOHONJIN

※問合せ先の記載がないものは、ボランティア活動センターにお問い合わせください。

●お知らせ

●里山整備ボランティア

宝塚市内の5か所の森で里山整備活動や桜の育成に取り組んでいます。美しい自然の中で、楽しく爽やかに健康的な汗を流しています。未経験の方、女性も大歓迎。指導体制も整っていますので、安心してご参加ください。

日時・場所：概ね9：30～

（活動場所により集合時間が異なります。詳細はお問合せください）

・桜の園（亦楽山荘）7/10（金）・7/15（水）・7/25（土）・8/5（水）・8/13（木）・8/22（土）

・山手台 7/21（火）・8/18（火）

・ゆずり葉の森 7/8（水）・8/11（火）

・青葉台 7/29（水）・8/28（金）

・武庫山の森 7/5（日）・7/18（土）・8/2（日）・8/15（土）

主催：森林ボランティア櫻守の会



●お知らせ

●たからづか障害者応援プロジェクト

新型コロナウイルスの影響でお困りの方の生活を応援します！

対象：宝塚市内にお住まいの、主に障害当事者

内容：

①買い物応援プロジェクト

買い物が行きにくく困っている方を対象にボランティアがお買い物をします。

※障害福祉サービスを利用されている方は、そちらを優先してください。

②情報交換&交流会

インターネットを使って障害、年齢問わずみなでお話しして情報交換しましょう。

③声聴くYOプロジェクト

「こんなことで困ってるのだけど…」 「〇〇について教えてほしい。」など、新型コロナウイルスに関連のご相談をお聴きします。

問合せ：ボランティア活動センター

お買い物ボランティアも募集中です!! 詳しくは3面へ。



ボラセン日記

緊急事態宣言の解除が発表されましたが、元の生活に戻るにはまだまだ時間がかかりそうです。感染防止のため「人と会わない」ことが求められて、「嫌だから会わない」はありがちだけど「好き（大事）だから会わない」という何とも哲学的な自粛期間を過ごされたのではないのでしょうか（私は普通に仕事でしたが…）人と会う事が必要な福祉の現場に「新たな日常」はどんな影響を与えるのでしょうか。（じゃっきー）



2020年4月1日～5月31日まで

相談 依頼件数

…23件（うち終了分19件）

（発行）

社会福祉法人 宝塚市社会福祉協議会・ボランティア活動センター
〒665-0867 宝塚市売布東の町12-7（ぶらざこむ1内）

（発送）発送ボランティア

（編集）みんなボランティア編集部

記事に関するお問い合わせは

宝塚社協ボランティア活動センター

Tel 0797-86-5001（直通）

Fax 0797-83-2425

HP <http://avolun.o.oo7.jp>

E-mail avolun@nifty.com

へどうぞ



フェイスブック
も見てね♪

